

4班 エリザベス1世



エリザベス1世はイングランドとアイルランドの女王として45年間在位し、彼女の統治した17世紀は、とくにエリザベス朝と呼ばれ、イングランドの黄金期と言われています。女性らしさを存分に発揮し、したたかで華のあるリーダーシップがあったとされる女王をイメージした作品を制作しました。

④-1



◆担当アイテム：ショート丈トップス

◆使用素材：オーガンジー

◇制作について

エリザベス一世のファッションの中でも特に印象的なラフ（襷襟）を、現代風に落とし込みました。当時のラフの形から、花の形に変形させた。パールとパフスリーブで当時のファッションを取り入れながら、丈をクロップド丈に変え、袖や裾の処理を、巻きロックという方法を用いて現代性のある作品にしました。

当時のエリザベス女王は、暗い色よりも明るい色を好んでいたため、明るく優しい色にした。このトップスの下に着るワンピースが、黄色だったので、補色である紫をトップスのメインにした。白やベージュを組み合わせ、生地を二重にすることで、色の変化が出るような工夫をしました。

④-2



◆担当アイテム：スカーフ 2 枚

◆使用素材：キュプラ

◇制作について

デザインは、エリザベス 1 世の何とも言えない儂げな雰囲気と、女王特有のゴージャス感・高級感を残しつつ、現行ファッションの特徴や、スカーフや素材感にこだわって、現代の流行りを取り入れた。

1 つ目のスカーフは、衣装の色が全体的に暖色系なので、浮かないように、スカーフもオレンジ色、赤色、黄色、茶色、ピンク色の 5 色を混ぜて暖色系に仕上げた。2 つ目のスカーフは、1 つ目と違って差し色としてスカーフを使いたかったので、寒色系の水色にした。

④-3



◆担当アイテム：ノーカラージャケット

◆使用素材：ブロード

◇制作について

下に着るトップスが見えるように前開きにし、トップスのうでの部分がきちんと見えるようにジャケットの腕が開いているデザインにした。

エリザベス一世は目立ちたがり屋で禿な色味の服が好みだったので、全体で見たときに鮮やかな色合いにしたいと、下に着るトップスが濃い黄色、上に着るマントが薄い黄色だったのでその二つに調和するようなブラウンにした。

④-4



◆担当アイテム：上から羽織るシースルーのローブ

◆使用素材：オーガンジー

◇制作について

コートの上から羽織るシースルーのローブを制作しました。

エリザベス1世の時代の貴族が着ていたドレスには、オーガンジーのような生地を使っていたのでオーガンジーを使用した。歩くとなびくように大きめのシルエットにしました。首回りに青のお花を付けた所もポイントです。

薄い黄色にした理由は、エリザベス1世の映画でワンシーン着ていたドレスの上から羽織っていたローブが黄色だったので黄色にした。ただ黄色に染めるのではなく上から下に向かってグラデーションになるように設定した。

④-5



◆担当アイテム：トップス 手袋

◆使用素材：ウール フライス (トップス)、綿 オックスフォード (手袋)

◇制作について

エリザベス一世がイエローの色味のトップス、ローブを纏っていたのでそれをデザイン案として取り入れ、同様に、トップスの上に更に一枚羽織る形をイメージしてデザインした。

腕カバーのように、ピッタリ合った着脱可能な袖が主流だったことを参考に手袋の製作に至りました。私たちの班の全体的な色味を主にイエローやオレンジで統一した。イエローは、高貴な色として西洋、そして東洋でも連想され位置づけられており、劇中でエリザベス一世がイエローの衣服を身に纏っていたのを参考にした。

④-6



◆担当アイテム：パンツ

◆使用素材：ポリウレタン、ナイロンジャージ6、サテン

◇制作について

エリザベス一世は、ゴージャスで上品なイメージだったので、ぴちっとしたフレアパンツを土台に考えていきました。パンツの裾に付けたプリーツは長めに、色はゴールドにした。また、後ろに付けた水色のヒラヒラは、彼女が豪邸に住んでいた女帝で、いつも着ていた服がフリフリで長めだったため、ヒールを履いても引きずる感じにした。

豪邸に住んでいる女帝をイメージして3色使いました。フレアパンツ全体の色は、レトロで知的な印象を与える濃い茶色にした。そして、パンツの裾に付けているプリーツは、ゴージャスで上品なイメージを与えてくれるゴールドにして、後ろに付けたヒラヒラさせる布は水色にして、明るさを足した。



◆担当アイテム：ワンピース

◆使用素材：オックスフォード

◇制作について

エリザベス一世の着ていたドレスを現代風にするために、ワンピースで表現した。下半身の部分にボリュームが出るようフレアを入れ、ドレスに近くなるよう丈感も長めにデザインしました。手元には、現代っぽくアームカバーをつけるので、半袖でデザインした。

色鮮やかな色がエリザベス一世の好みでもあった為、イエローを主にし、オレンジと混ざった色合いにし、華やかさを表現した。また、ワンピースの上に着るモノや、2体並んだ時のバランスも考えてこの色合いにしました。